

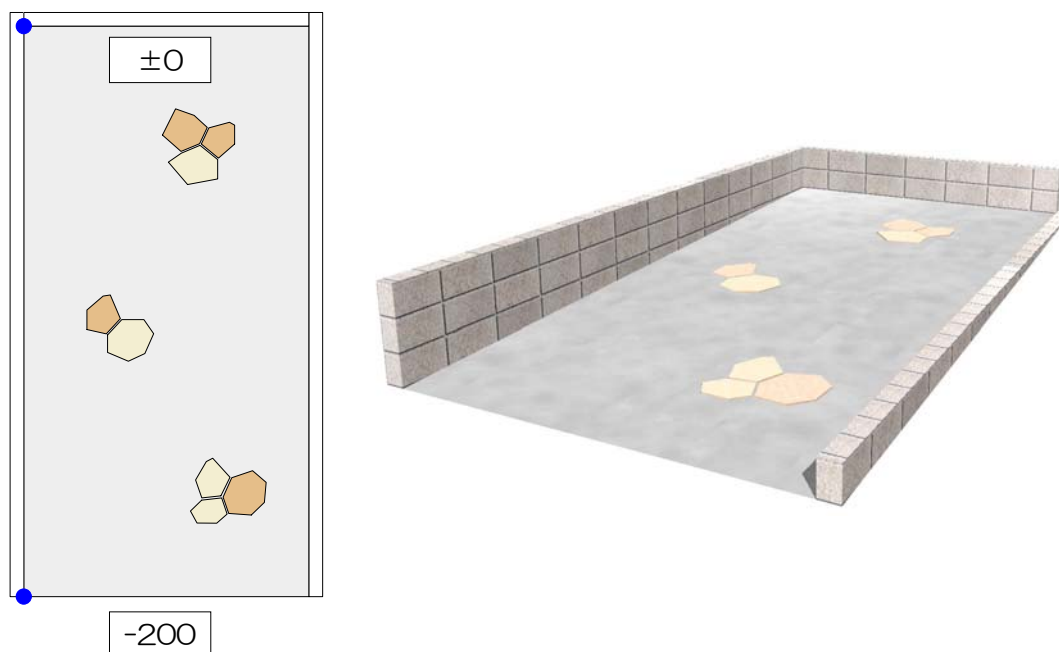


レベル設定

—練習問題

①レベル設定-基礎 ～レベル一括変換(2点)～

水勾配、道路勾配など一定の傾斜を設定する時に使用します。

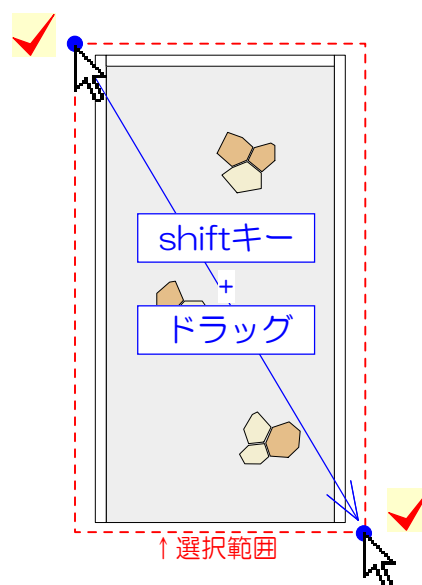


レベル一括変換(2点)： レベル分かる2点を指定して勾配を設定します。

① 設定ユニットの選択



セレクションポインタツールで勾配や
下端を設定したいユニットを全て選択
します。



①レベル設定-基礎 ～レベル一括変換(2点)～

水勾配、道路勾配など一定の傾斜を設定する時に使用します。

② レベル一括変換（2点）

加工メニューのレベル一括変換（2点）をクリックします。

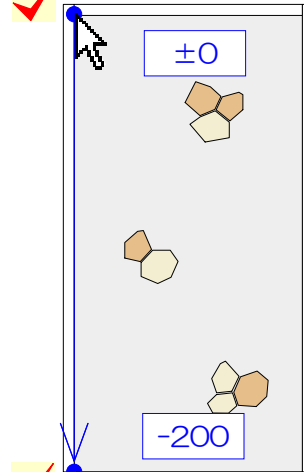
加工メニュー → レベル一括変換(2点)

③ レベル設定箇所の指定

レベルを入力したい点を2点クリックします。

クリックする順番によって次の「レベル数値入力」の欄が変わります。

クリック①



クリック②



④ レベル数値入力

レベル設定ダイアログに数値を入力します。

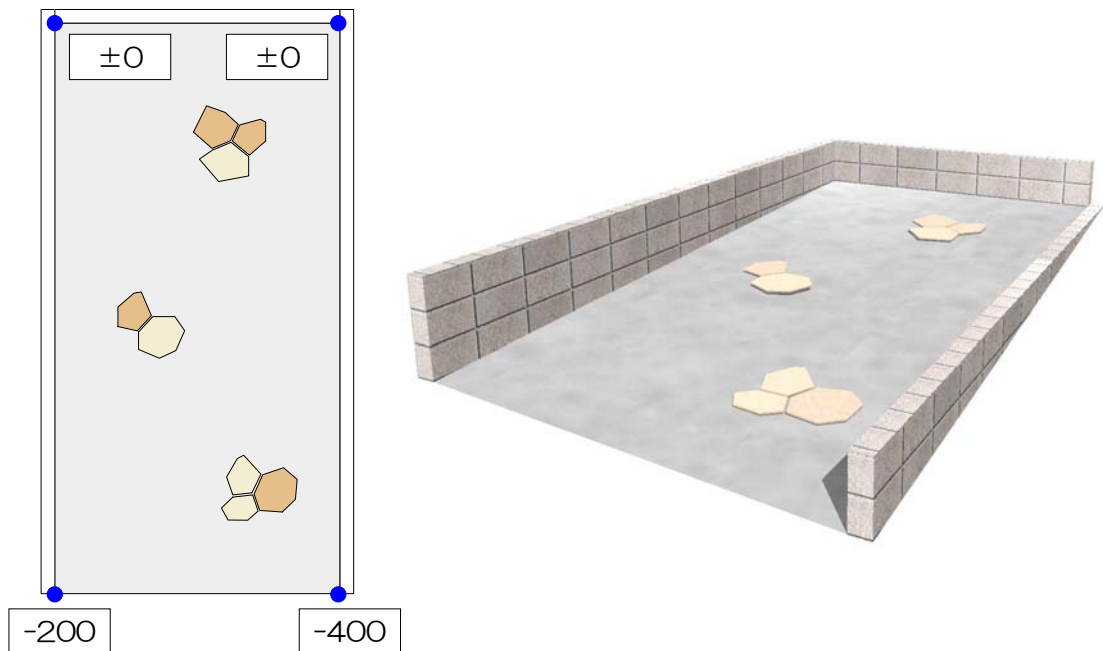
クリック① のレベル

クリック② のレベル

シンボル変換モード：参考ページ ○○

②レベル設定-基礎 ～レベル一括変換(4点)～

水勾配と道路勾配がある場合など、「ねじれ」勾配を設定する時に使用します。



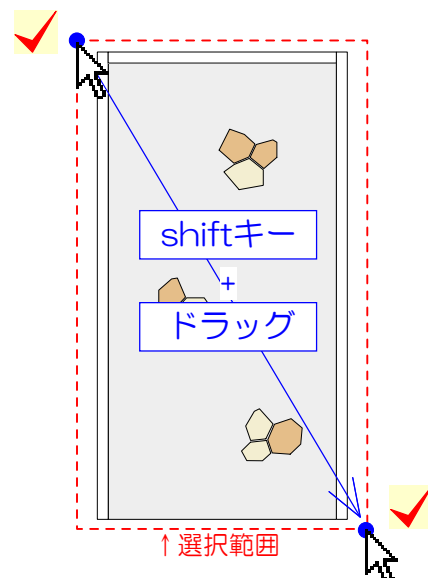
レベル一括変換(4点)： レベル分かる4点を指定して勾配を設定します。

① 設定ユニットの選択

勾配や下端を設定したいユニットを全て選択します。



セレクションポインタツールで勾配や下端を設定したいユニットを全て選択します。



①レベル設定-基礎 ～レベル一括変換(4点)～

水勾配、道路勾配など一定の傾斜を設定する時に使用します。

② レベル一括変換（4点）

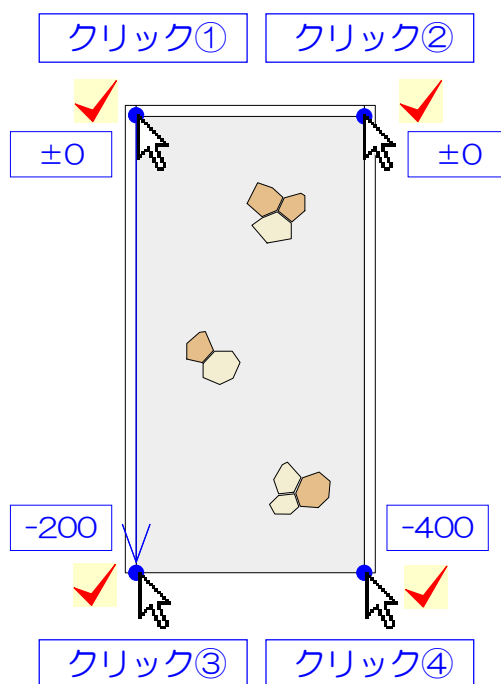
加工メニューのレベル一括変換（4点）をクリックします。

加工メニュー → レベル一括変換(4点)

③ レベル設定箇所の指定

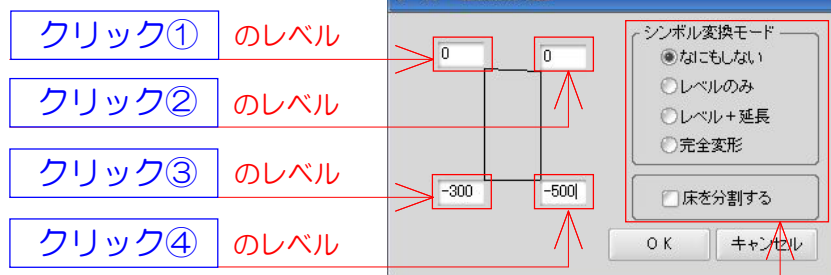
レベルを入力したい点を2点クリックします。

クリックする順番によって次の「レベル数値入力」の欄が変わります。



④ レベル数値入力

レベル設定ダイアログに数値を入力します。



シンボル変換モード：参考ページ [〇〇](#)

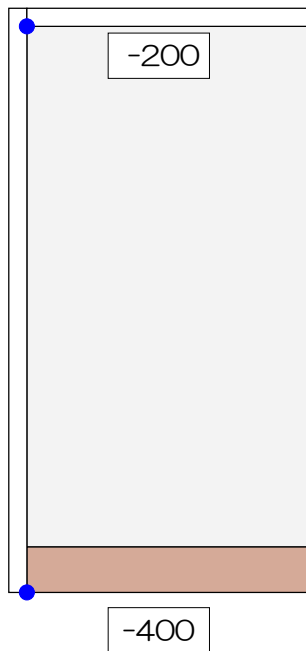
①レベル設定-練習 ～レベル一括変換(2点)～

[レベル一括変換(2点)]を使って、下記プランの設定をしてみましょう。

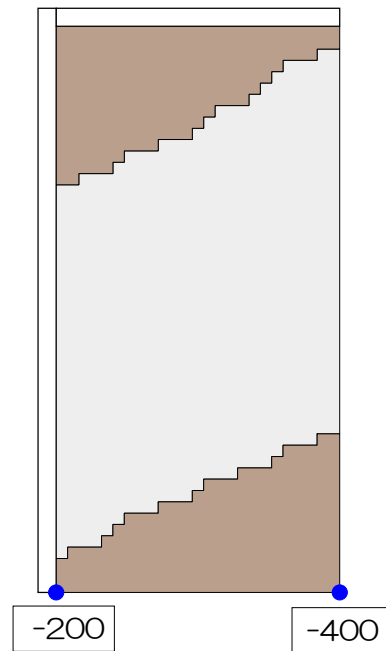
(1) 付属の「練習問題」フォルダから下記の練習問題のファイルを選択して開きましょう。

(2) レベルを設定したら、「カメラ」にしてパースをみて確認してみましょう。

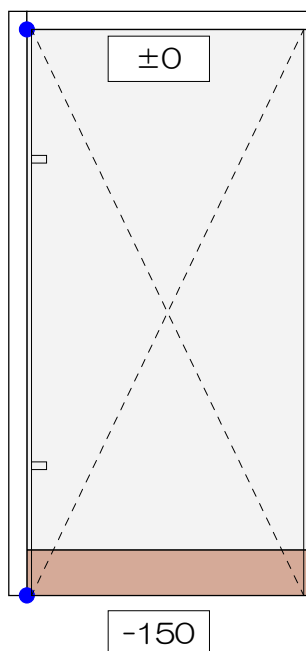
練習問題 【01-01】



練習問題 【01-02】



練習問題 【01-03】



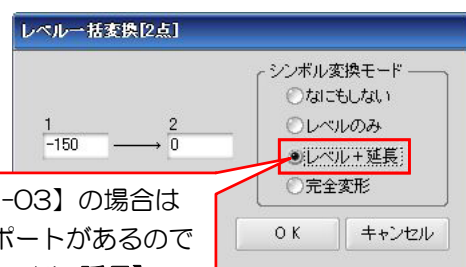
シンボルがある時:

レベル設定をしたい範囲内に「シンボル」（カーポート・車止め・伸縮門扉などメーカー商品）が含まれる時は、【シンボル変換モード】を使用します。

【レベルのみ】 門扉・機能門柱のみの場合

【レベル+延長】 上記+カーポートを含む場合

【完全変形】 伸縮門扉の場合



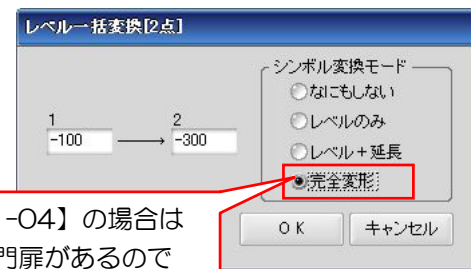
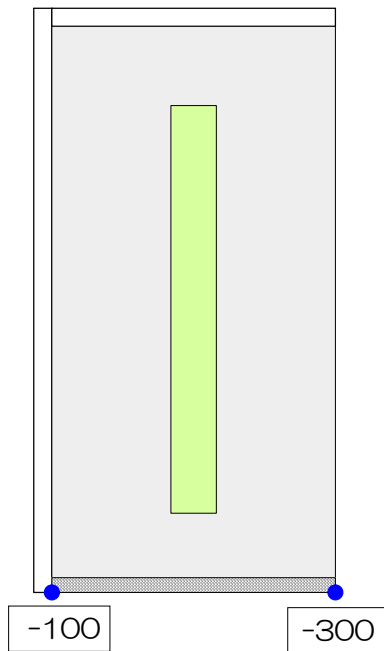
①レベル設定-練習 ～レベル一括変換(2点)～

[レベル一括変換(2点)]を使って、下記プランの設定をしてみましょう。

(1) 付属の「練習問題」フォルダから下記の練習問題のファイルを選択して開きましょう。

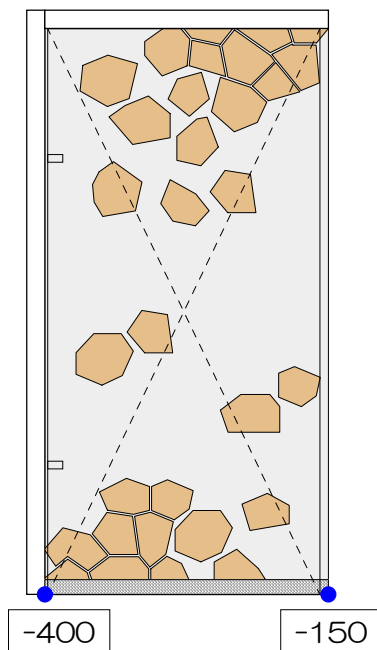
(2) レベルを設定したら、「カメラ」にしてパースをみて確認してみましょう。

練習問題 【O1-04】



【O1-04】の場合は
伸縮門扉があるので
【完全変形】

練習問題 【O1-05】



カーポートと伸縮門扉がある時:

設定範囲内にカーポートと伸縮門扉がある時は、「シンボル変換モード」が重複してしまうので2回に分けて設定します。

1回目

伸縮門扉以外を選択して【レベル+延長】

2回目

伸縮門扉だけを選択して【完全変形】

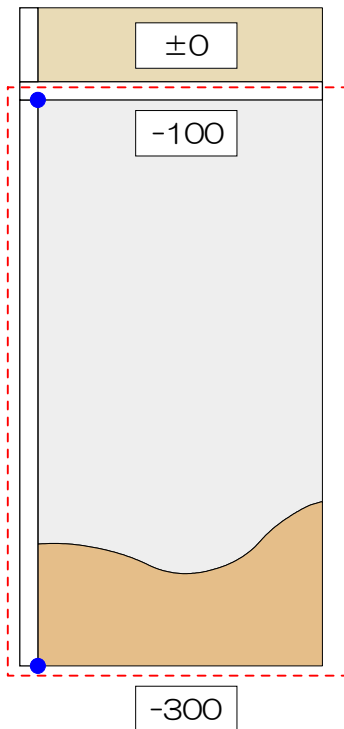
①レベル設定-練習 ～レベル一括変換(2点)～

[レベル一括変換(2点)]を使って、下記プランの設定をしてみましょう。

(1) 付属の「練習問題」フォルダから下記の練習問題のファイルを選択して開きましょう。

(2) レベルを設定したら、「カメラ」にしてパースをみて確認してみましょう。

練習問題 【01-06】

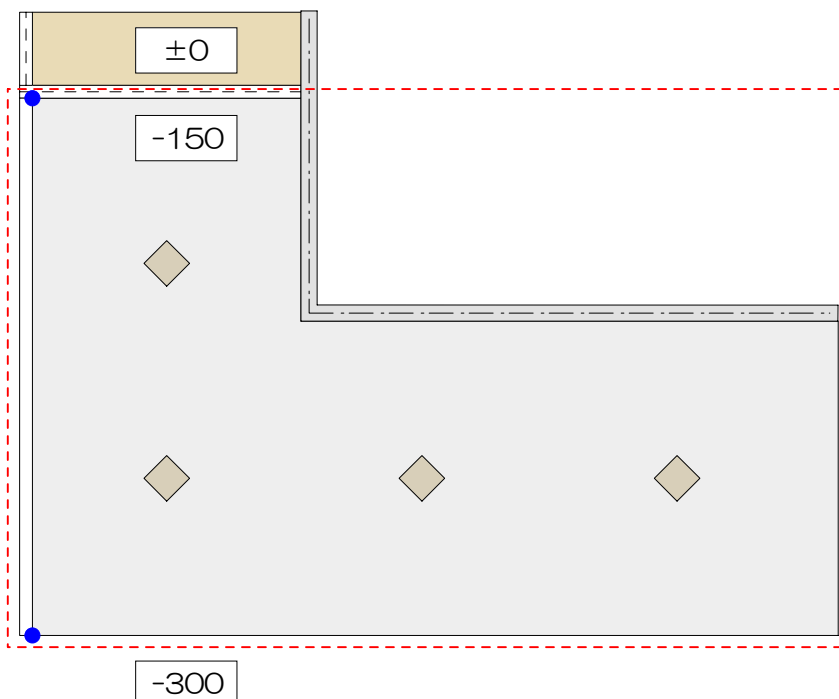


選択する範囲:

レベルを設定したい図形だけを選択します。
選択が上手くできない時は、テキストのSTEP1を復習しましょう。

 デジタルマニュアル → テキストBOOK
→ 各作図 (Art・Craft・Vectorworks)
→ STEP1 → 図形選択・選択解除

練習問題 【01-07】



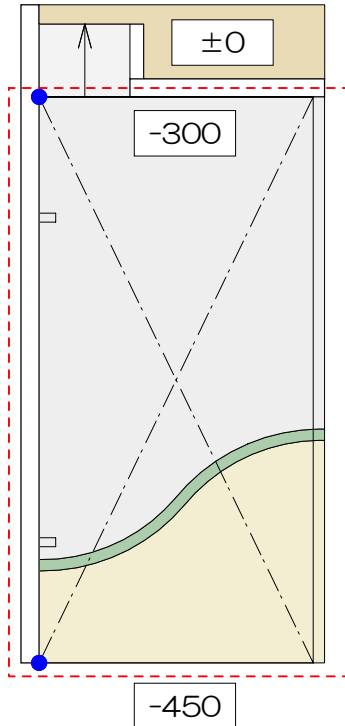
①レベル設定-練習 ～レベル一括変換(2点)～

[レベル一括変換(2点)]を使って、下記プランの設定をしてみましょう。

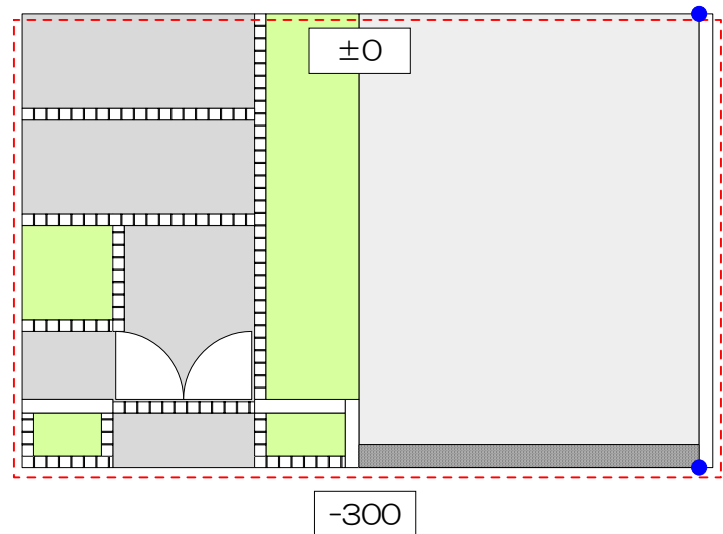
(1) 付属の「練習問題」フォルダから下記の練習問題のファイルを選択して開きましょう。

(2) レベルを設定したら、「カメラ」にしてパースをみて確認してみましょう。

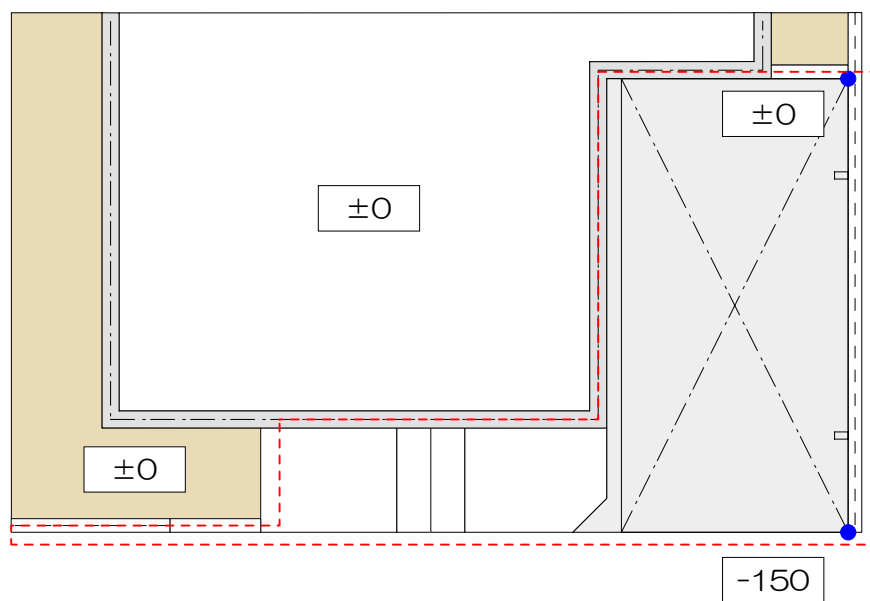
練習問題 【01-08】



練習問題 【01-09】



練習問題 【01-10】



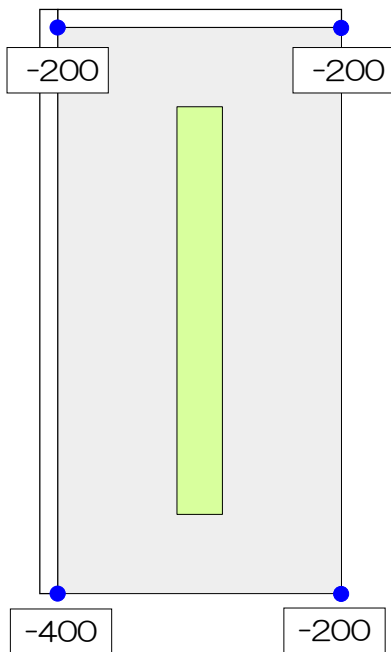
②レベル設定-練習 ～レベル一括変換(4点)～

[レベル一括変換(4点)]を使って、下記プランの設定をしてみましょう。

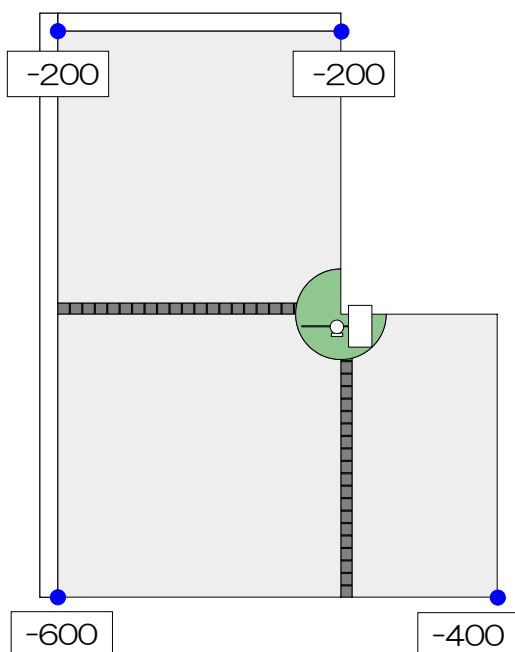
(1) 付属の「練習問題」フォルダから下記の練習問題のファイルを選択して開きましょう。

(2) レベルを設定したら、「カメラ」にしてパースをみて確認してみましょう。

練習問題 【02-01】



練習問題 【02-02】



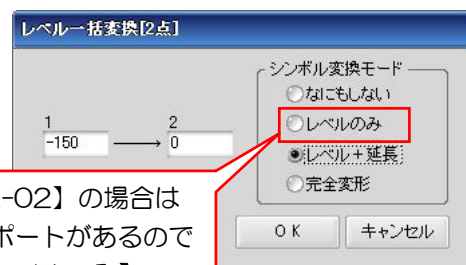
シンボルがある時:

レベル設定をしたい範囲内に「シンボル」（カーポート・車止め・伸縮門扉などメーカー商品）が含まれる時は、【シンボル変換モード】を使用します。

【レベルのみ】 門扉・機能門柱のみの場合

【レベル+延長】 上記+カーポートを含む場合

【完全変形】 伸縮門扉の場合



【02-02】の場合は
カーポートがあるので
【レベルのみ】

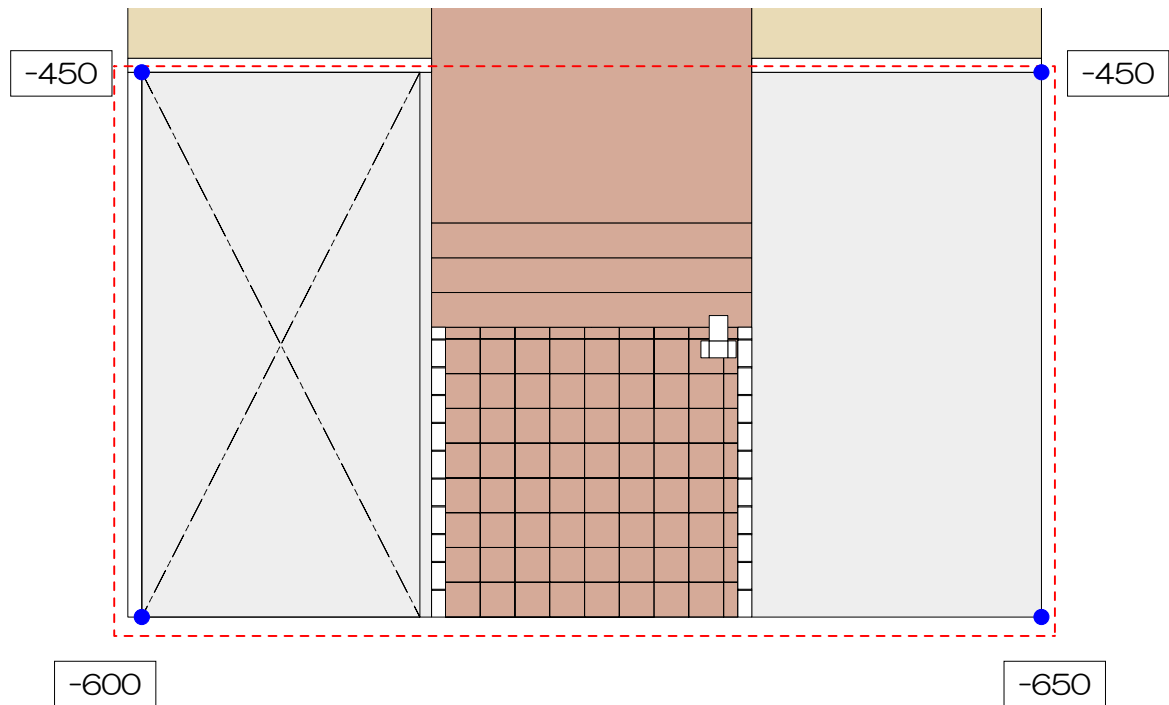
②レベル設定-練習 ～レベル一括変換(4点)～

[レベル一括変換(4点)]を使って、下記プランの設定をしてみましょう。

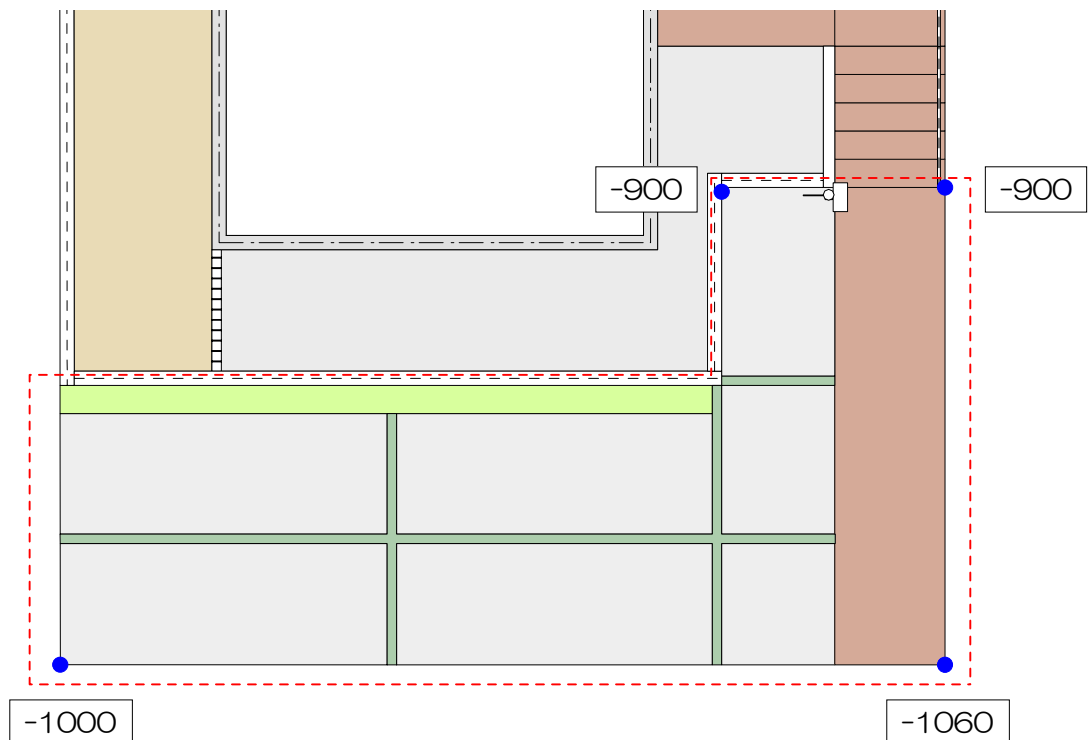
(1) 付属の「練習問題」フォルダから下記の練習問題のファイルを選択して開きましょう。

(2) レベルを設定したら、「カメラ」にしてパースをみて確認してみましょう。

練習問題 【02-03】

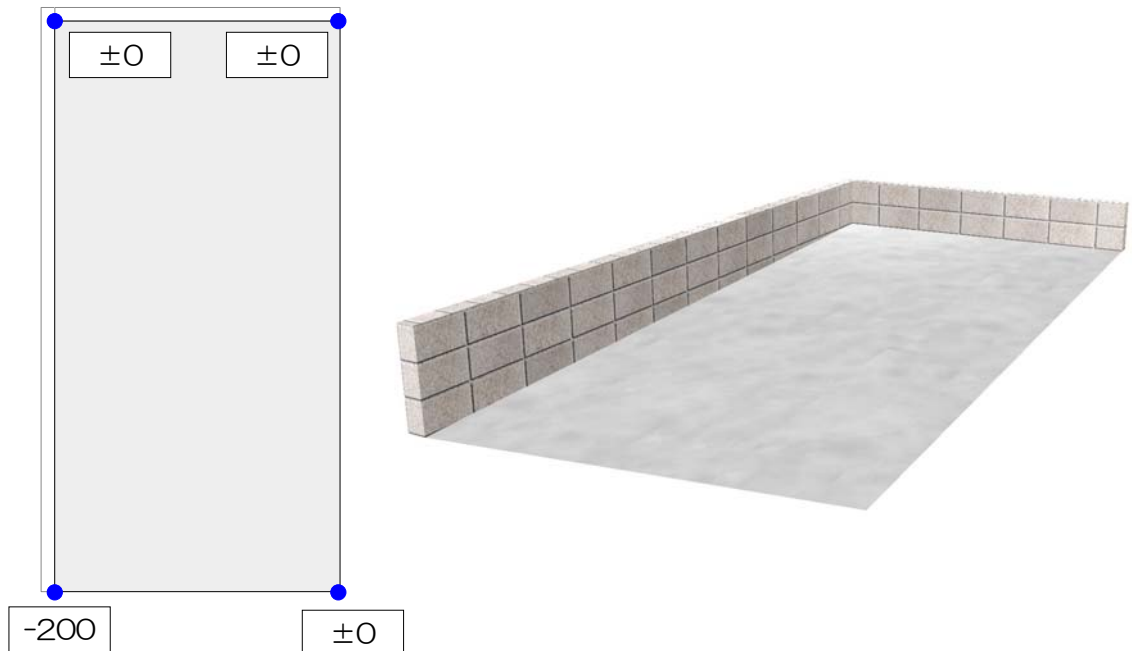


練習問題 【02-04】



③レベル設定-基礎 ～床デザイナー～

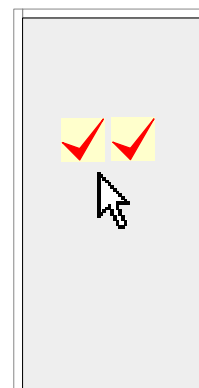
主にレベル一括変換では指定できない複雑な「ねじれ」勾配を設定する時に使用します。
頂点ごとにレベルを指定することができます。
※床単体を設定します。塀やシンボルは別に設定する必要があります。



床デザイナー(座標レベル)： 指定した頂点にレベル設定を行うことができます。

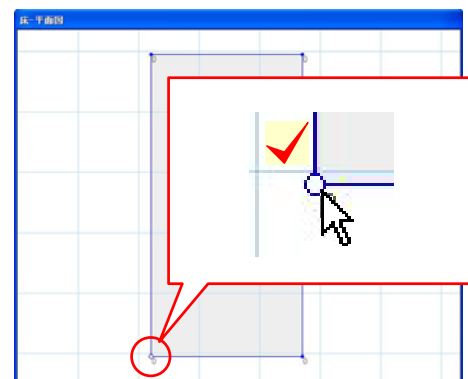
① 床デザイナー起動

設定したい床を  でWクリック
します。



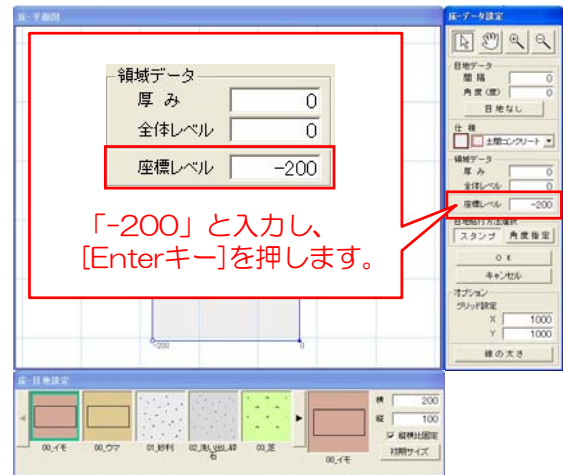
② 点を指定

レベルを設定したい点をクリックし、
●→○にします。



③ レベルを入力

「座標レベル」に数値を入力します。



床データ設定： 厚み・レベル・目地模様などを設定する画面です。

目地データ

間 隔

角 度 (度)

目 地 な し

仕 様

☐ ☒ 土間コンクリート

領域データ

厚 み

全体レベル

座標レベル

目地貼付方法選択

☒ スタンプ ☐ 角度指定

OK

キャンセル

オプション

グリッド設定

X

Y

線の太さ

画面調整のツールです。

目地の設定です。

[間隔]：目地と目地の間隔です。

[角度 (度)]：目地の角度です。

[目地なし]：目地を「なし」にします。

床の仕様です。

目地の厚みと配置高さです。

[厚み]：床の厚み (高さ) です。

[レベル]：床全体のレベルを設定します。

[座標レベル]：選択している頂点座標のレベルを設定します。

目地の貼り方です。

[スタンプ]：目地を端から貼ります。

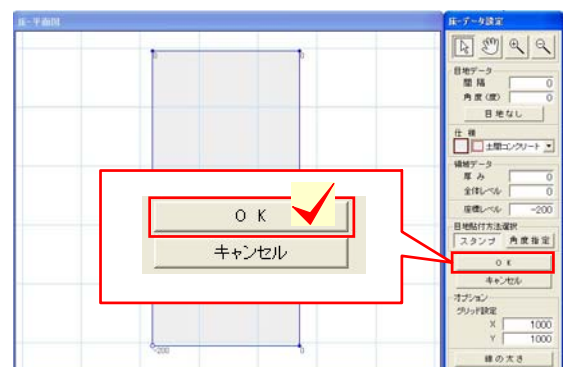
[角度指定]：スナップした辺に平行に貼ります。

グリッドの設定です。

表示する線の太さを設定します。

④ 決定

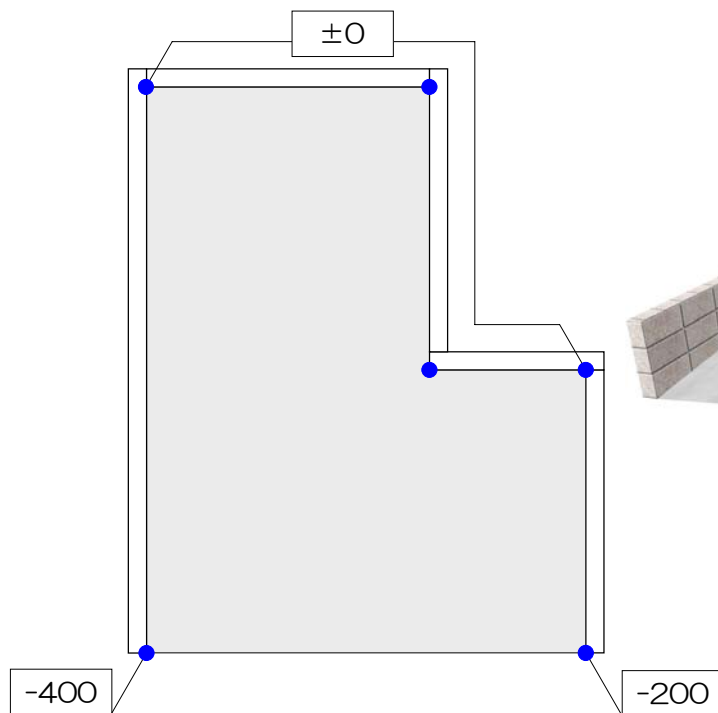
[OK]を押して設定完了です。



③レベル設定-練習 ～床デザイナー：座標レベル～

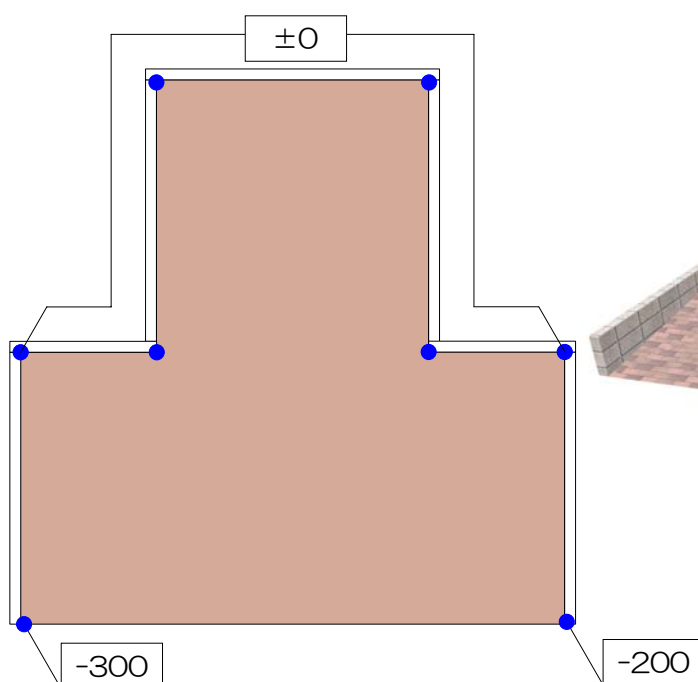
[床デザイナーの座標レベル]を使って、下記プランの設定をしてみましょう。
(1) 付属の「練習問題」フォルダから下記の練習問題のファイルを選択して開きましょう。
(2) レベルを設定したら、「カメラ」にしてパースをみて確認してみましょう。

練習問題 【03-01】



【完成参考図】

練習問題 【03-02】

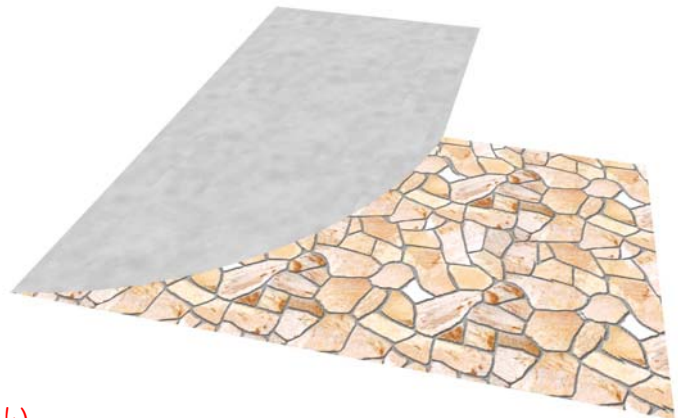
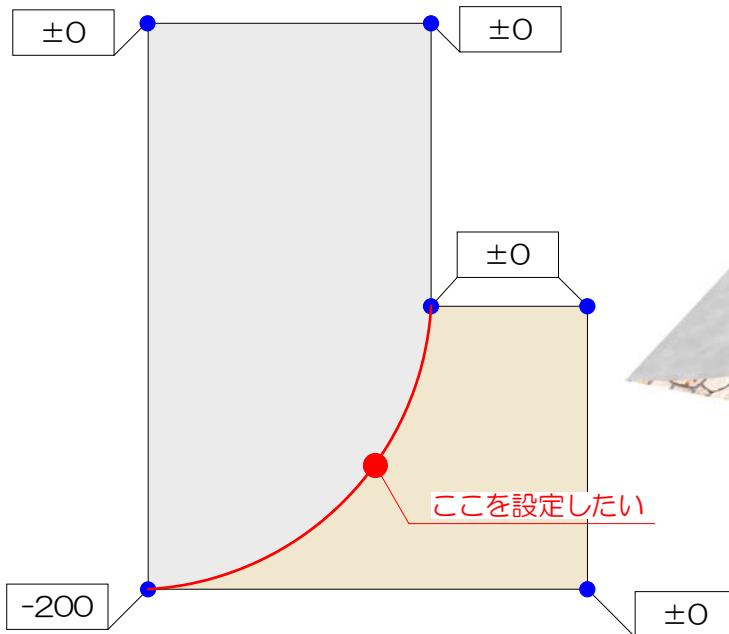


【完成参考図】

③レベル設定-基礎 ～床デザイナー：床レベル設定～

主にレベル一括変換では指定できない複雑な「ねじれ」勾配を設定する時に使用します。
頂点ごとにレベルを指定することができます。

※床単体を設定します。塀やシンボルは別に設定する必要があります。

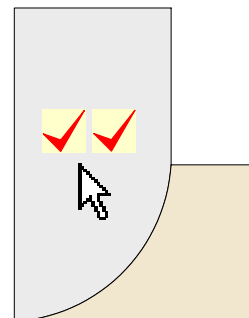


【完成参考図】

床デザイナー(設定方法2)： 端点のレベルを指定すると、指定した範囲に自動でレベル設定を行うことができます。

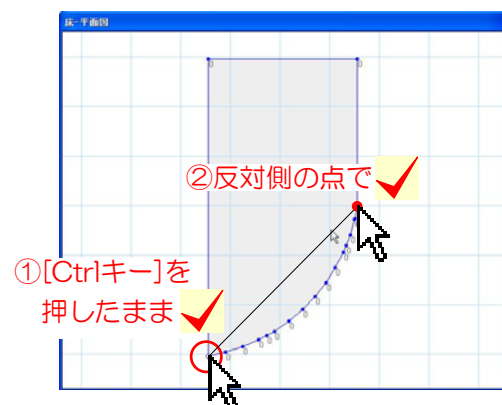
① 床デザイナー起動

設定したい床を  でWクリック
します。



② 点を指定

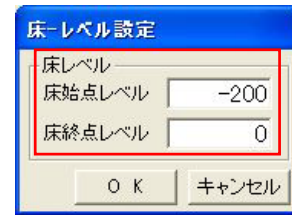
レベルを設定したい点を[Ctrlキー]を
押したままクリックし、[Ctrlキー]を
離して反対側の点でクリックします。



③ レベルを入力

「座標レベル」に数値を入力します。

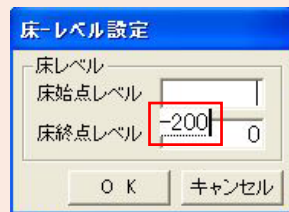
①は先にクリックしたので[始点]
②は後にクリックしたので[終点]
となります。



数値を入力し、[OK]を押します。

OKを押すと数字が消えてしまう時： 数字を入れたのに消えてしまう時は…

入力した数値が枠外に出ていたり、数値の下に点線が表示されていませんか？



これがある時は入力モードが「ひらがな」になっています。

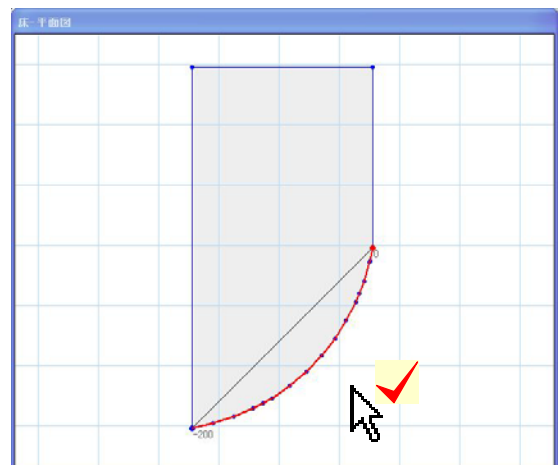


[Enterキー]を押すか、「直接入力」にして入力しましょう。



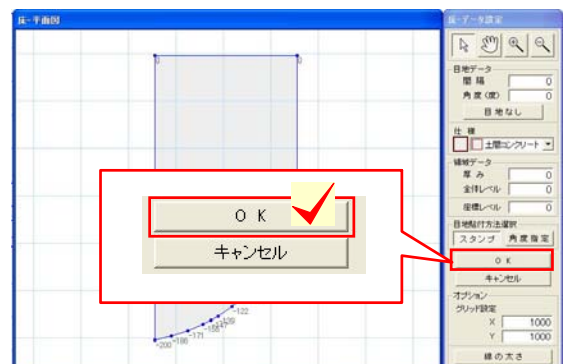
⑤ 範囲を指定

入力した数値を反映させたい部分が赤くなったらクリックします。



⑥ 決定

[OK]を押して設定完了です。



※ 隣接するもう一つの床も同様に設定します。